



東部こども園だより

令和2年 1月号

発行責任者：園長 小山田 容子



のびのび表現した発表会

12月13日は、3歳以上児の生活発表会が行われました。日頃から子ども達が楽しんでいるものや、やってみたいものを盛り込んだプログラムになっていましたので、発表会当日まで、とても意欲的に取り組む姿が見られました。練習だけでなく、5歳児では、劇に必要な小道具を作ったり、合奏を楽しんだ4歳児の子ども達は、もっと色々な楽器を鳴らしてみたくなり、手作り楽器を作ったり、3歳児は、はらぺこあおむしのくだものやちょうちょうをみんなで一生懸命に塗りました。このように今年の発表会は、ステージで発表するだけでなく、みんなで制作したり、アイデアを出し合い工夫したりと総合的な活動になりました。そして、一人ひとりが楽しく、意欲的に取り組んだ発表会をたくさんのお客様に見ていただき、大きな拍手をいただいたことは、子ども達の自信に繋がりました。その証拠に発表会が終わった後も子ども達は、学年の枠を超えてそれぞれ好きな役になり、表現する楽しさを味わい、さらに遊びが盛り上がりました。そして、保護者の方々が、とても静かに温かいまなざしで子ども達の姿を観てくださる姿にいつも感謝です。東部こども園の子ども達が素直にすくすくと育っている理由がそこにあることを感じています。これを成長の節目とし、子ども達はまた一回り大きく成長していくことでしょう。たくさんの拍手をありがとうございました。



生活発表会を楽しんだ子ども達は

次の日から発表会ごっこで大盛り上がり！

興味津々で練習を見に来ていたすみれ組は、年少組に教えてもらい大喜びであおむしに変身し、お話の世界を楽しんでいます。



子ども達は、なりたい役になり、自由に劇ごっこや音楽遊びを楽しんでいます。

劇ごっこでは、年長組が、小聲で小さい組にセリフを教える姿も…



